

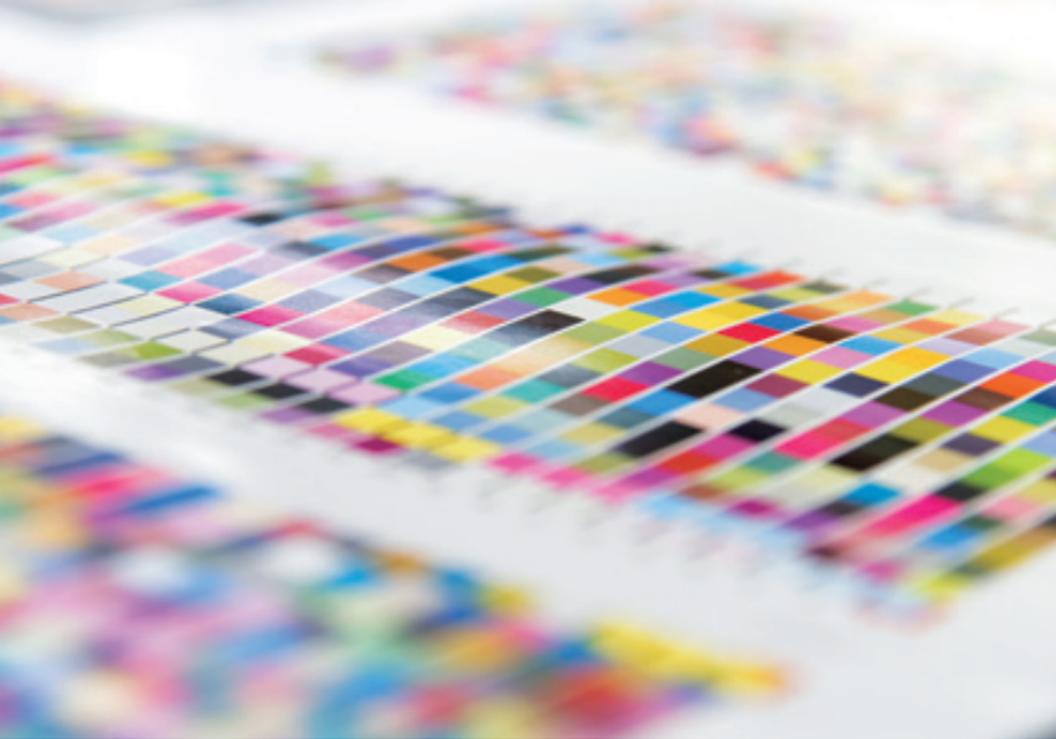


ものづくりでだれかを幸せにしませんか？

 **瞬報社写真印刷株式会社**

■会社概要

創 業 1882年(明治15年)
代表者 藤田良郎
資本金 8,443万円
売上高 22億1,143万円(2022年)
従業員数 115名(2023年)



お客様の想いに、真摯に向き合う

想いや情報を「誰かに伝えたい」とき、「残したい」とき、最初に思い浮かべていただける存在でありたい。

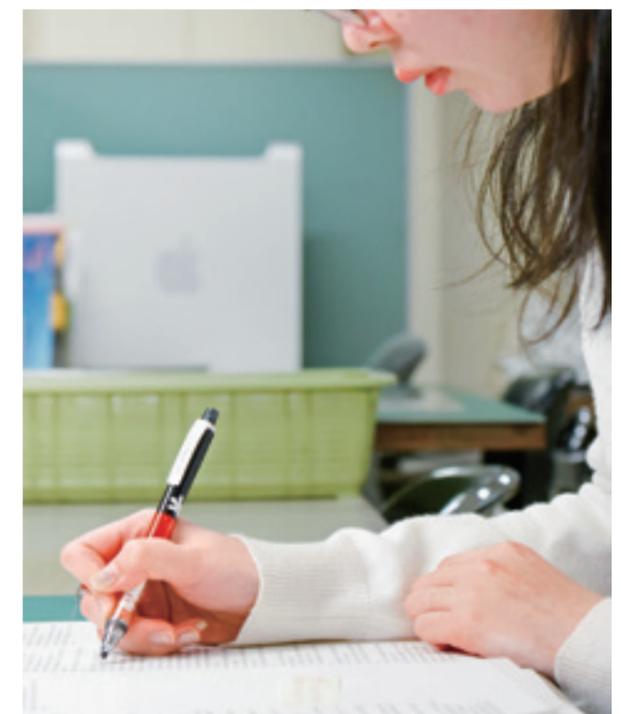
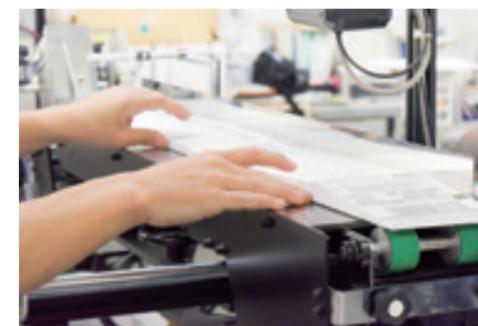
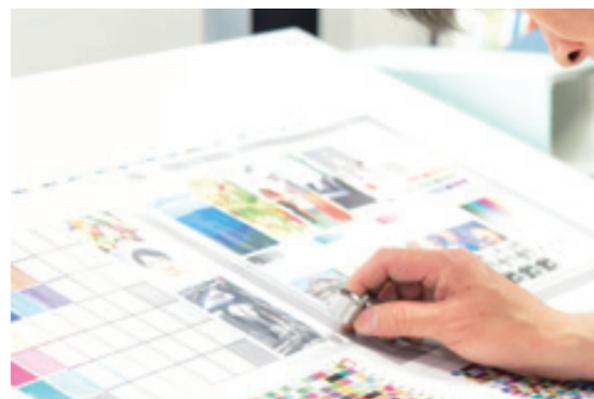
私たちは、目に見えない“もの”までも“カタチ”にしていきます。

お客様が抱えている様々な課題に対し、お客様と同じ目線で向き合い最適な解決策を提案します。

お客様の想いに日々寄り添い、応えていくことが私たちの使命です。

創業142年、時代とともに変化するお客様の想いに応え続けてきました。

築き上げた技術力と多くのお客様の信頼を胸に、私たちはこれからも真摯に向き合い続けます。





想いをカタチにする“ゼロからのものづくり”

私たちの仕事は、既製品を売ることはありません。

お客さまが本当に欲しいと思えるものを企画提案し、お客さまと一緒に“ゼロからのものづくり”をしています。

私たちは、お客さまの“想い”を“カタチ”にするために、全ての工程にこだわりをもって取り組んでいます。

「まあいいか、この程度でいいじゃないか」そんな風に考える社員はいません。

私たちが目指すのは、“お客さまの想像を超える創造”。

創造することを一緒に楽しんでくれる仲間を探しています。



私たちの仕事はクライアントの課題を

×  で解決することです。

営業部

お客様の想いをカタチにするため、丁寧にヒアリングし、提案を行います。日程調整・確認も大切な仕事の一つです。
 多種多様な業種を得意先としており、その道のプロと一緒に仕事をすることができる大変刺激的な部署です。企画から完成まで一貫して携わることで、ものづくりの楽しさを実感できます。

生産管理部

営業部から仕事を受け、工場内の各部署への手配や工程管理を行います。まさに工場内の司令塔です。各部署への作業指示や工程は独自のシステムで一元管理しています。ここで集約した指示が工場内全てを回る設計図となります。

総務部

経理業務だけでなく、設備のメンテナンスも総務部の仕事です。社員が安心して仕事に打ち込めるよう、会社内のすべてに気を配ります。困ったことがあれば何でもご相談あれ。ご来社いただいたお客様へは気持ちよく過ごしていただけるよう、いただいたお電話への対応は元気よく行うよう心がけています。

DTP課

デザイン・レイアウト・画像の加工など、PCを自在に使うお客様のイメージを具現化していきます。スピードが求められる部署ではありますが、誤植は会社の評判を落とすだけでなく、お客様にご迷惑をおかけするので、細心の注意を払って作業します。

印刷課

DTP課で作成したデータを大きな印刷機で紙に印刷します。気温・湿度の変化を感じ取り、職人技で高い品質を保ちます。
 C(シアン)・M(マゼンタ)・Y(イエロー)・K(ブラック)、4つの色でカラーを再現。皆さんが目にする印刷物は、4色の小さい点の集合でできています。一度、ルーペで覗いてみませんか？

製本課

1冊の本も様々な部品でできています。平面の紙を折ったり綴じたりして、製品に仕上げます。お客様の想いが製品になる最終工程です。できあがった製品は品質に問題がないかしっかりと検品、キレイに梱包し、社員全員の想いをのせて、お客様のものとへ届けます。



「新商品を売り出したいけど、効果的な方法が分からない」、
 「会社の周年記念に何か特別なことをしたい」など、お客様からいただく課題は様々です。

瞬報社では6つの専門チームで課題解決に挑みます。なかには印刷会社の商品らしくないものもありますが、お客様の求めるものが私たちの販売する商品です。印刷会社の枠にとらわれず、自由な発想と行動力で最適なツールを見つけ出し、提案していきます。



企画提案 × AS



名刺一枚あればどこへでも営業できる。印刷会社は個人・法人を問わず、どんな業種でもお客さまにすることができます。あなたの日常のどの場面にも印刷会社の仕事は溢れています。

いろいろな業種の方々と交流ができる

どんな業種でもお客さまになるので、その道のプロや企業のトップと接することができます。普段知り得ない情報を見聞きし、知識を深めることができ、常に刺激がいっぱいです。

企画提案するには、その企業の担当の方からトップの方まで、キーマンとなる方々から丁寧にヒアリングすること、しっかり社内で打ち合わせることが必要です。企画案がまとまるまでに時間がかかったり、意見が衝突することもあります。全てはより良い提案をするため。一所懸命に考えた提案が採用されたときは、すごく達成感があります。

ものづくりの楽しみを実感し、成長していく

私たちが手がけるのは完全オーダーメイドの商品です。お客さまの要望に合わせて、日々異なるものをつくっていきます。

いままで経験したことがない仕事に取り組むと、想定してなかった壁にぶつかることもあります。その壁を越えた時には自分の成長を感じることができます。

瞬報社では、web制作やイベント運営など印刷物以外にも幅広く携わることができるので、あなたの可能性を無限に発揮することができます。



カタチに残る仕事だからこそ、感じる事ができる満足感

普段の生活の中で、自分が関わった商品を目にすることがあります。例えば、新聞折込チラシやポスター、街に出かけると見かけるポスターや看板、お店に入れば本や商品のパッケージ。自分の仕事の成果を街で見つけたときの満足感はたまりません。

仕事の楽しみ方は人それぞれ。趣味や興味のある業界について見



識を深めても良いし、大好きな街を元気にするお手伝いをして良い。瞬報社は自ら創造することを楽しめる人、たくさんの人と触れ合うことに喜びを感じられる人に、最適な会社です。

営業社員の1日

趣味は読書です!

営業三課
武田 美央さん
2020年入社

趣味はよさこいです!

デザイン室
久我 美月さん
2018年入社

- 8:30 **朝礼**
- 9:00 **各クライアントへの訪問準備**
見積書や提案書の作成、ヒアリング項目の整理など、訪問前の準備をします。
- 11:00 **A社訪問**
・封筒の納品
・リーフレットの打ち合わせ
- 12:00 **帰社・昼食**
- 13:00 **A社リーフレットの打ち合わせ**
クライアントへのヒアリングをもとに、全体のイメージを固めます。
- 14:00 **B社カタログの印刷立ち合い**
- 15:00 **C社訪問**
・チラシの校正、見積書提出
- 16:00 **帰社**
・原稿整理 ・提案書、伝票、見積作成
- 19:00 **退社**
今日は少し遅くなりました!

- 8:30 **D社の広報誌作成**
お客さまからの原稿をもとに作成します。
- 10:00 **C社のチラシ修正**
・文字修正 ・レイアウトの変更
- 11:00 **C社のチラシ校正出力**
お客さまへの提出用にプリント校正を出力します。
- 12:00 **昼食**
- 14:00 **E社のリーフレット校正準備・提出**
・文字修正
・最終確認
- 16:00 **A社のリーフレット作成(新規)**
打ち合わせの内容を整理し、全体のレイアウトラフを作成します。
- 17:30 **退社**

美術印刷の企画提案を中心に営業展開しています。瞬報社は色の再現力が高いので、お客さまに重宝されています。美術館内の装飾なども手がけ、美術展をトータルプロデュースします。



大手出版会社をクライアントにしていることもあり、書店に並んでいる本の中には瞬報社で印刷したものがあります。児童書は子どもたちが夢を見る大切なものなので仕上がりに責任を感じます。



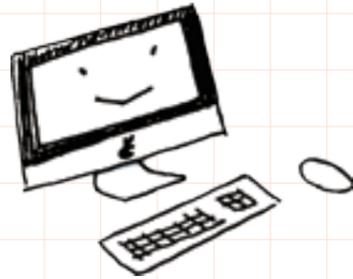
印刷物だけでなく、イベント運営やテレビ・ラジオCMなどあらゆる媒体を使ってお客さまの商品をブランド化していきます。最大効果を目指し、最適な提案を心がけています。



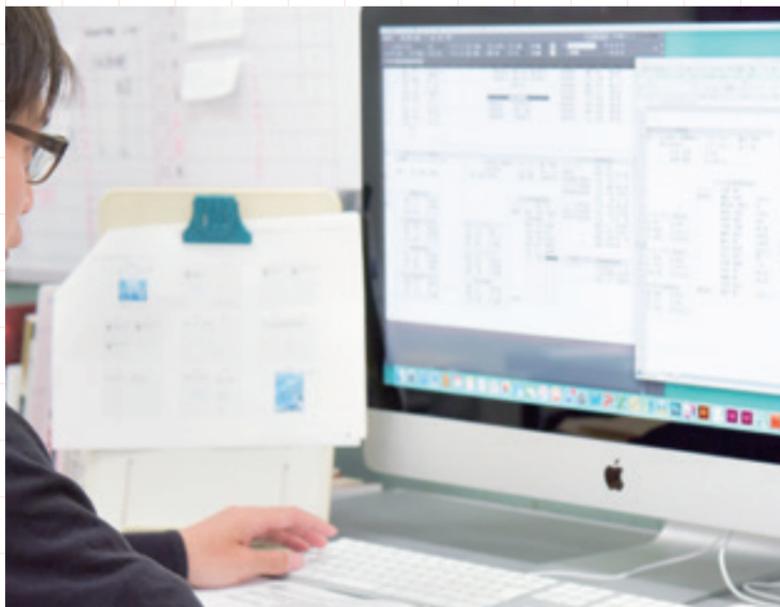
webサイトを中心としたネットメディアの情報制作をしています。最新の技術やアプリに対応するためには、日々からの情報収集が大切で、変化にいち早く反応していきます。



表現力 × SIS



デザイン



日常にある、あなたが何気なく目にしたものの。それらは全て制作者の想いがつまったものです。印刷物もそう。街角に貼られているポスター1枚にしても、たくさんの想いがつまっています。

記憶の引き出しにある、私だけに見えたもの

私たちにとって、目に見えるもの全てが教科書です。専門書や美術品だけでなく、雑誌やチラシ、街にあふれる看板やポスター、さらには街並みや風景まで。印象に残ったものや新しいと感じたものを記憶に留めていき、財産とします。こうしてデザインの幅を広げ、お客さまの様々なご要望にお応えします。



対象者を意識して、より印象的なデザインにする

紙面にデザインするときは、文字・写真・イラストを組み合わせさせて作っていきます。その中で、一番目立たせたいものは何か、製品を目にする人の世代や性別を意識したデザインを考えて作っていきます。

文字や写真を、たった1mm大きくしたり移動させるだけで印象が変わっていきます。より印象に残るものにするため、位置や大きさに徹底的にこだわります。



何度でも何度でも何度でも…

お客さまの考えや好みは時に変わることがあります。最初にヒアリングして一所懸命に考えたデザイン案がお客さまの好みに合わず、ダメ出しされることもあります。その時は喪失感でいっぱいになりますが、お客さまの厳しい指摘も良いものを作り上げようという想いがあるからこそ。何度でもお客さまの想いをヒアリングして、デザインを工夫する。そうすることで、独りよがりでない、皆の想いがこもった製品に仕上がります。

校正



お客さまの想いがつまった原稿。製品としてできあがったときに誤植があつてはなりません。瞬報社では一文字一文字にこだわった校正作業をしています。

答えの用意されていない間違い探し

校正をする前は当然ながら、誤字・脱字がどこにあるのか、何箇所あるのか分かりません。

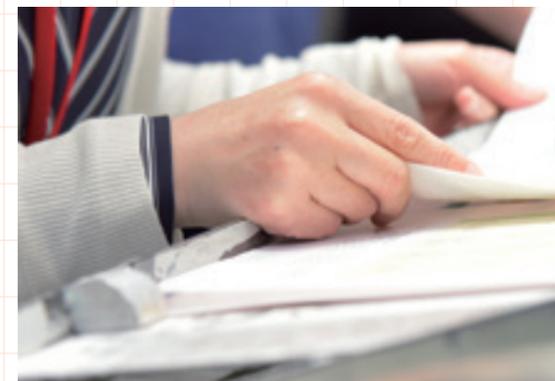
誤植が見つからない時は、本当にすべて正しい文章なんだろうか、見落としているんじゃないだろうかと繰り返し複数の視点でチェックします。

校正作業に集中し、原稿と真摯に向き合うことで、確信をもって作業を終えることができます。

お客さまと紙面対話するコミュニケーションのカタチ

校正をしていると、お客さまの意図を確認しなければならなかったり、疑問に思うことを質問しなければならないことがあります。工場内で作業する私たちは、お客さまと直接お話しすることはありません。校正紙に直接書き込んだり、メモ書きした付箋を貼ったりして、お客さまの想いを教えていただきます。

紙面での対話を大切に、より良い本を作るためのコミュニケーションは欠かしません。



カタチに残るからこそ得られる満足感

校正を重ねていると、誰も気づいていなかった誤植を見つけることがあります。誤植のまま印刷してしまうと、お客さまの信用を傷つけてしまいます。「よく見つけてくれたね」とお客さまから感謝の言葉をいただいたとき、本づくりに貢献できたという実感できます。



Voice



正しい情報を正しく伝える。私たちはそんな当たり前をつくるために真摯に取り組んでいます。誤植なく世に送りだされた製品が、私たちの誇りです。



職人技 × SIS

色再現



ある晴れた日に空を見上げたとき、あなたはその青さをどう表現しますか? 「青い」「真っ青」「雲一つない快晴の青」など様々な表現がありますが、どれも感覚的で曖昧なものです。言葉で色を表現すると、伝える側と受け取る側で違うものをイメージし、まさに“十人十色”となってしまいます。

お客様のニーズをとらえ、満足いただける表現を

“Photoshop”という画像編集ソフトをご存知ですか? 印刷会社では、そのソフトを使って、C(シアン)・M(マゼンタ)・Y(イエロー)・K(ブラック)の4つの色の割合で画像を表現しています。4色の数値を上げ下げすることで、色調整することができます。感覚的で曖昧な指示であっても、お客様のニーズが正解となる色調整。瞬報社では、お客様に満足いただくまで、ひとりの担当者が責任をもって画像編集を行います。

同じデータを印刷しても、仕上りは違ってしまう

毎回、同じ色に印刷する。簡単なように思われるかもしれませんが、それは大きな間違いです。印刷機は、その日の気温や湿度の影響を受けて、微妙に仕上がりが変わってきます。しかも、印刷直後のものと、時間が経って乾燥したものとでは色合いが変わって見えます。仕上がりをイメージして色調整する。そこはオペレーターの腕の見せどころです。

製品が納品され、お客様に「希望通りの仕上りだよ」と言っていたときは、感慨深い喜びと達成感を得ることができます。

瞬報社のオペレーターは国家試験一級技能士も多く、お客様のニーズに応えるために日々学習し続け、最高の品質をお届けしています。



仕上げ



最後の工程だからこそできる思いやり

ここまで様々な部署でたくさんの人が携わって作りあげた製品に、折れ曲がっていたり破れているものが混ざっていると、お客様にご迷惑をおかけします。そのようなことがないように、これまで培ってきた経験をもとに、一人一人の小さな気づきを大切に、見落としがないよう仕組みをつくり、皆で情報を共有しています。不良品が混ざっていきそうなときは、皆で1冊ずつ丁寧に検品します。また、瞬報社ではできあがった製品を見栄え良くキレイに包装するよう心がけています。購入した商品が手元に届いたとき、キレイに包装されていないと残念に思いませんか? 私たちはお客様が製品を手にする姿をイメージし、心を込めて作業しています。

正確で速い作業は段取りがすべて

製品をたくさんのお客様へ届けるために、仕分け発送も承っています。お客様のものと間違いなく素早くお届けするためには、作業前の段取りが全て。納期に間に合わせるため、複数の作業者が同時に作業することもあります。作業前にしっかり打ち合わせ、そこで決めたルールを全員が徹底します。作業者間でコミュニケーションをとり、間違いを未然に防ぎます。



Voice



過不足なく作業を終えた時の達成感はずぐ、チームスポーツで勝利したときのように皆で喜びを感じられます。



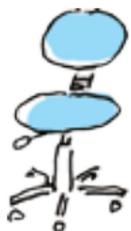
私たちと一緒に “ゼロからのものづくり” しませんか？

ひとつの会社の中でも、やっている仕事は様々。

あなたにあった仕事がきっと見つかるはずです。

あなたの特技は何ですか？好きなことは何ですか？

瞬報社は、あなたの個性を表現できる会社です。



幼い頃に読んだ児童書、
実は当社で制作したもの
いっぱいあるんですよ

ものづくりの楽しさを
実感できる職場です。

あなた色のものづくりで
お客さまの期待に
応えてみませんか？

形に残る仕事が多く、
やりがいを感じます！



就職活動をしている皆さん、お疲れ様です。皆さんは就職先として、休日数や福利厚生、その会社の将来性等、様々な条件を吟味していることでしょう。

最初に私たちが伝えたいことは、印刷メディアの将来性であります。例えばネットという媒体は、自らが調べたい事柄に対しては非常に強いのですが、自身が予想もなかった分野の発見という点においては、あまり得意とは言えません。

これに対し印刷メディアとして目に入って来る情報は、本屋などで出会う新たな書籍の発見ばかりではなく、チラシやパンフレット等から、思いがけず知り得る情報は無数にあります。そこから見つけたちょっとした発見は、個人の中で無限大に広がってゆくと言っても過言ではないでしょう。そして映像と違い、しっかりと読むことで記憶に留まります。つまり印刷メディアは人間の知的メディアとして、また優れた販促メディアとして永遠に続くことは間違いありません。

そんな中、当社は印刷を核として創業以来、142年の歴史を歩み続けております。その歴史の中で、当社が一番大切にしているのは“人との関係を大切にすること”ということです。お客さまに対しては勿論、社員の職場環境改善と、一番掲げる人材育成に関しては何処にも負けません。私たちはステークホルダー全ての皆様を大切に、共に歩み続けております。そして、そこから時代を見据えた技術革新を繰り返しているのです。

当社の社是は永続を前提としておりますので、目先の利益を短期的に追いかけるのではなく、皆さんの将来設計を真摯に考えて経営をし続けております。このため、当社は離職率の大変低い会社の一つであると自負しております。

このようなことをじっくりと吟味の上、就職活動をしていただければ幸いです。

専務取締役 藤田 育夫



〈当社社是〉

